六小・富士便り

開校５６年目　国立市立国立第六小学校
校長室便りNo.9　令和８年(2026 年) 10 月 22 日

令和９年度を目指して

【まえがき】

今、その時を迎えている
令和9年度に向けて
新たな目標
人材・組織

先日は、本校の運動会へのご来校、並びにご理解とご協力、ご支援に心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。令和７年度から、六小の校長として着任し、令和８年度の今月で約１年半以上が過ぎましたが、まだまだというか、ようやくというか、私にとっては短いようで長く、長いようで短いという感覚があります。

校長として、学校経営をしていくためには、これまでの学校運営の土台や学習活動、教育活動などの六小が取り組んできたことを知る必要がありました。更には教職員の一人一人のことを知り、地域の方や保護者の皆様のことを知り、そして、一番大切な子供たちのことを知るようにしてきました。そして、令和８年度の今年度、昨年度学んだ六小の様々な状況を基に学校経営方針を立て、学校運営協議会の皆様と協働して学校運営を行っていくところまで来ています。

しかし、学校の教育活動は、留まることはありません。日々変化、変容していく子供たちを更に成長させていくために、来年度である令和９年度に向けて、新たな目標をどこに置き、そのために何が必要で、それを形づけていくための人材や組織をどうするかを考えていくことが必要です。

そして、今、その時を迎えています。

【国立市が目指す学校像】

今年の２月に改訂された国立市の教育大綱の中には、**「包摂」**という言葉が謳われており、以下ように言葉が綴られています。

『子どもの特性や強みに光を当て、一人ひとりがその子らしく共に学ぶことができる包摂力の高い学校・学級づくりを進めます。』

教育大綱に謳われている**「包摂」**という言葉については、一般的には、『一定の範囲やグループの中に、多様な意見・立場・人などを包み込んで受け入れること』とあり、これを教育大綱として読んだときには、上記の太字の部分が目指す学校像となります。

【本校の包摂力を高めるために】

本校において包摂力を高めるための手立てとしては、特別支援教育の力を高めていく必要があると考えています。**一人ひとりがその子らしい学校生活を送る**には、児童一人一人の個性や特性を理解し、その個々に応じた取組を考えて、その児童及び保護者と共有していくことが大切です。

学校でも、ご家庭でも、できる限り同じ取組を実践し、一緒になって子供を育てていく。障がいがある、なしに関わらず、どの子どもにも苦手なところがあり、得意なところや発揮できる力があることを知り合っていく。

上記のことを前提として、本校の大切にしていきたいところは、

〇どの子どもにも安心できる居場所があること。

〇どの子どもにも安全な学校生活であること。

〇どの子どもにもその子らしく生きるための学びの場があること。

来年度を見据え、本校の包摂力を更に高め、安心で安全な学校であり、その子らしく学校生活を送ることができるようにするためには、やはり特別支援教育を土台にした、本校が目指す学校像や取組をしっかりと見定めていく必要があります。

そして、見定めていくための材料においては、本校に設置されている特別支援学級のフレンドや特別支援教室のはばたきが実践し、特別支援教育を進めてきた実績と様々な事例があります。本校の強みの１つであるこのフレンドやはばたきでの取組を基にしながら、次の節目である開校６０年をイメージし、コミュニティ・スクールとして地域と共にある学校になっていきたいと思います。

【児童一人一人の学力を高める取組】

学習指導要領で求められている力として、思考力•判断力•表現力等が挙げられます。この力は、日々の授業や学習活動、教育活動の中で育てていくものです。本校においては、学力も学校課題の一つであり、その改善を目指して、今年度の学校経営方針の「よく考える子」の手立てをお知らせしているところです。

多くの学級で、改善のための取組が行われていますが、更に学習における児童の状況をしっかりと見取り、判断していきたいと考え、来年度から以下の取組を設定してまいりたいと思います。

○通知表を前期・後期の２回にして、学習における見取りの期間をしっかりと取る。
（学校生活における１学期・２学期・３学期には、変更はありません。）

○通知表の１回分を減らした分、保護者会や個人面談の設定回数や内容の見直しなどを図り、保護者とより緊密に情報を共有し、児童を協働して育てる。

取組の詳細については、様々に検討し、３学期において保護者の皆様にお知らせしてまいります。また、新年度当初の保護者会等でも、取組について説明させていただきます。子供たちの成長のためにじっくりと腰を据えて取り組み、保護者の皆様と向き合いながら、学校と保護者の皆様、地域の皆様の力を合わせて、六小を高めていくことができるようにしてまいります。何卒、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

【学力の向上は、包摂力の向上に。包摂力の向上は、学力の向上に。】

学力の向上は、実は、包摂力を高めていくためにも必要な力です。考える力や物事を捉える力、表現する力（思考力•判断力•表現力）が必要になるからです。今の場面はどういう場面であるか、その時には、どういう行動が必要であるか、その時には、どんな表情でどんな言葉を使い、どういう行動をするのか等、思考力や判断力、表現力が求められます。

また、学力は、授業時間や学習活動の時にだけ向上するものではありません。学校生活全般の中で身に付ける力は、学力を高めることに繋がります。六小全体の取組が、学力や包摂力の向上に繋がり、また、それぞれが関わり合うことによって、相乗効果のように向上していく。学校の教育活動には、本来無駄はありません。全てが様々な事象に繋がっています。

国立第六小学校は、様々な繋がりを大切にし、未来を生きる子供たちの力を育ててまいりたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様の引き続きのご理解とご協力、ご支援をお願いいたします。

【校長のつぶやき】 以前お知らせしていた、**笑顔寄席の日程**が決まりました。当初の予定通りに**令和９年２月１７日(水)に決定**です。出演いただく演者の皆さんのスケジュールが確定し、本校に来ていただくことになります。詳細については、また、別の号でお知らせします。